



2学期が始まりました。

長い夏休みも終わり、8月25日（水）から2学期が始まりました。今年は、新型コロナウイルス感染症予防のための外出の自粛や8月中旬から長く続いた大雨によって、例年になく家にいることが多かった夏休みだったことと思います。何人かの子どもたちに夏休みの様子を尋ねましたが「家にずっといました。」という返事が多く返ってきました。

2学期の始業式では、子どもたちに頑張してほしいことを2つお願いしました。

《新型コロナウイルスに感染しないためにしっかりすること》

- 学校に来る前に、家で体温をきちんと計ってこること。
- 熱があったり、喉が痛かったりなどの風邪のような症状がある時は、学校を休むこと。
- 学校に来たら入り口に置いてある アルコール消毒液で手や指の消毒をしてから校舎に入ること。
- 給食の前やトイレに行った後等、手洗いをきちんとすること。
- 鼻や口がかくれるように、きちんとマスクをつけること。
- 困ったことや、心配なことがあったら相談ポストに入れること。

《気持ちのよいあいさつができるようになること》

- 「おはようございます」「こんにちは」と自分からあいさつができること。
- 先生だけでなく、友だち、地域の方、学校に来られたお客さんなど、誰にでもあいさつができること。

学校での新型コロナウイルス感染対策

福岡県が新型コロナウイルス感染予防のための緊急事態宣言の地域に指定されていること、筑後市でも感染の拡大が続いていることを受け、筑後市の小中学校は、9月10日（金）まで午前中の短縮授業を実施することが決まりました。学校では、上記のように子どもたちに感染を予防するための生活様式を定着させること、学校内で感染が広がることのないよう3密（密集、密接、密閉）にならない学習活動を行うことに取り組んでいます。

特に2学期は、下の写真のように、登校時、下校時に児童が校舎中央の児童昇降口に密集しないように、児童昇降口を体育館やランチルーム等に分散させたり、給食時にランチルームに子どもたちが密集しないように、ランチルームに入る時間をずらしたりするを行っています。又、特に体育館での体育は、換気をしながら一人ひとりの間隔を空けたり、給食時は、話をせず、黙って食べたりすることを続けています。子どもたちには、我慢をさせますが、学校での感染の拡大を何とか防ぎたいと考えています。



児童昇降口の分散



体育館入り口



ランチルーム



校舎東側通路



体育館での体育



ランチルームへの入り方



黙食（おしゃべりせず食べる）

【校長のつぶやき】

右の写真は、たくさんの花をつけている1年生のアサガオの写真です。1年生の教室の外には、このようなアサガオの鉢が並んでいます。夏休み期間中、各家庭で子どもたちと保護者の皆様が大切に育てて頂いた様子がよく伝わってきました。又、自由研究やアイデア貯金箱等多くの作品が提出されています。このコロナ禍や長期間の大雨などの中にあっても、保護者の皆様のおかげで子どもたちが充実した夏休みを過ごしたことが伺えました。本当にありがとうございました。



1年生のアサガオ



夏休みの作品の一部